

---

---

Express5800シリーズ  
PowerChute Business Edition v.6.1  
ESMPRO/UPSManager ver2.0(PowerChute Business Editionセット)  
ESMPRO/UPSManager ver2.0(PowerChute Business Editionセット) (Linux版)  
UPDATE (PCBE-061-004)  
アップデート手順書

---

---

日本電気株式会社

## 【目次】

1. ソフトの紹介
2. 対象機種
3. インストール方法
4. 注意・制限事項
5. 改版履歴

---

### 1. ソフトの紹介

本プログラムは、以下のソフトウェアプロダクトに対するアップデートモジュールです。

- PowerChute Business Edition v.6.1 (UL1057-002)
- ESMPRO/UPSManager ver2.0 (PowerChute Business Editionセット)  
(UL1047-003) に添付のPowerChute Business Edition v.6.1
- ESMPRO/UPSManager ver2.0 (PowerChute Business Editionセット) (Linux版)  
(UL4001-002) に添付のPowerChute Business Edition v.6.1

本プログラムは、PowerChute Business Edition エージェント/サーバ サービスが2005/07/28 06:43 (以下、有効期限とする) 以降、正常に動作しない問題を修正するものです。

### 2. 対象機種

Express5800/50、100シリーズ、その他PowerChute Business Edition v.6.1 (UL1057-002) で、サポート対象となっている機種

### 3. インストール方法

#### (1) 作業実施前の準備

PowerChute Business Edition を新規インストールする場合は、本UPDATE、「PowerChute Business Edition v.6.1」のインストールガイド、リリースノートをご用意ください。また、Linux環境へ新規インストールする場合は、「PowerChute Business Edition v.6.1」のCD-ROM媒体もをご用意ください。

#### (2) サーバへのログオン

PowerChute Business Edition エージェント/サーバがインストールされているサーバに、AdministratorあるいはAdministrator権限のあるユーザでログオンしてください。

### (3) UPDATE適用前の作業

本UPDATE適用時には、自サーバおよびリモートマシン上で、PowerChute Business Edition コンソールから本UPDATE適用対象のPowerChute Business Edition サーバへ接続していない状態(ログアウトした状態)で実行してください。

PowerChute Business Edition コンソールから本UPDATE適用対象のPowerChute Business Edition サーバにログインした状態で本UPDATEを適用した場合、必要以上に時間を要し、OSのイベントログにエラーがログされることがあります。

#### [イベントログ]

Windows Server 2003/Windows 2000/Windows XP の場合

エラー ID : 7011 Service Control Manager

APCPBEServer サービスからのトランザクション応答の待機中に  
タイムアウト (30000 ミリ秒) になりました。

Windows NT4.0 の場合

エラー ID : 7011 Service Control Manager

トランザクション応答待ちのタイムアウト (120000 ミリ秒)

### (4) 本UPDATEの適用

#### (4-1) UPDATEの解凍

(4-1-1 ログインしたサーバ上の任意の場所に、「PCBE614.EXE」をダウンロードしてください。

(ここでは例として C:\UPDATE とします。)

(4-1-2) 「PCBE614.exe」を実行すると、そのフォルダ配下に以下のフォルダ/ファイルが作成されます。

(上記のフォルダの場合 C:\UPDATE 配下に作成されます。)

- Windowsフォルダ : Windowsマシン用
  - Binフォルダ 45,521,301バイト
  - setup.exe 597,504バイト 2005/03/08 14:50
  - setup.jp 177,664バイト 2005/03/08 14:50
- LinuxSilentInstallフォルダ : Linuxマシン用
  - pbeagent\_jce\_patch.tar 225,280バイト 2005/03/08 14:51
- 手順書フォルダ
  - update手順書.txt (本ファイル)
  - 手動アンインストール手順書.txt 7,700バイト 2005/03/24 22:23
- readme.txt 15,623バイト 2005/03/25 14:46
- autorun.inf 57バイト 2005/03/08 14:50

#### (4-2) UPDATEの適用

##### 【Windows環境の場合】

##### ◆PowerChute Business Edition エージェント/サーバのアップデートインストール◆

既存のPowerChute Business Edition エージェント/サーバに本UPDATEを適用する場合は以下の手順にしたがって実行してください。

- (a) (4-1-2)で作成されたWindowsフォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックし、「APC PowerChute Business Edition のセットアップ」を起動します。
- (b) 「製品のインストール」を選択します。
- (c) 本UPDATEを適用する各コンポーネントの「Update」を選択し、画面に従って

実行してください。

《注意事項》

—2005/7/28 6:43(以下、有効期限とする)以降に、PowerChute Business Edition エージェント/サーバ サービスが「開始中」の状態アップデートインストールを実行すると、下記メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下し、スタートメニューからOSを再起動後、再度、アップデートインストールを実行してください。

「インストールを続行するために現在インストールされているAPC サービスの状態が「開始中」のサービスが削除されました。システムの再起動後に以下の製品のインストールを再度行い、インストールを完了してください。

- PowerChute Business Edition エージェント
- PowerChute Business Edition サーバ]

またWindows 2000環境の場合、OSを再起動時にバッテリーパラメータのダイアログが表示されます。その場合、「すぐに終了」を選択しOSをシャットダウンしてください。

—Windows XP環境にインストールされているPowerChute Business Edition エージェント/サーバにおいて有効期限経過後、各々のサービスが「開始中」の状態本UPDATEをアップデートインストールすることは出来ません。  
詳細・対処方法については、別紙「readme.txt」4. 注意事項(2)-4 をご参照ください。

—スケジュールシャットダウンが設定されているPowerChute Business Edition エージェントに本UPDATEをアップデートインストールする場合、処理に時間を要し、OSのイベントログにエラーがログされることがあります。  
詳細については、別紙「readme.txt」4. 注意事項(2)-11 をご参照ください。

—有効期限前に、本UPDATEをアップデートインストールした場合、「Create Service failed」というメッセージが表示されることがあります。  
その場合は、OSを再起動し再度アップデートインストールを実行してください。

◆PowerChute Business Edition の新規インストール◆

PowerChute Business Edition の各コンポーネントを新規インストールする場合は、以下の手順に従って実行してください。

また、詳細については「PowerChute Business Edition v.6.1」のインストールガイドをご参照ください。

- (a) (4-1-2) で作成されたWindowsフォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックし、「APC PowerChute Business Edition のセットアップ」を起動します。
- (b) 「製品のインストール」を選択します。
- (c) インストールする各コンポーネントの「install」を選択し、画面に従って実行してください。

《注意事項》

ESMPRO/UPSManagerや、ESMPRO/AutomaticRunningControllerと連携しているPowerChute Business Edition を再インストールする場合は、以下の作業を行ってください。  
※アップデートインストールまたは、本UPDATE適用のみの場合は必要ありません。

–ESMPRO/UPSManagerと連携して使用している場合

本アップデート適用後にESMPRO/UPSManagerを再度インストールしてください。

–ESMPRO/AutomaticRunningControllerと連携して使用している場合

PowerChute Business Edition のアンインストールを行う前に、ESMPRO/AutomaticRunningControllerの「環境設定ウィザード」より「PowerChute Business Edition連携を行う」を解除してください。また、本UPDATE適用後に「環境設定ウィザード」より「PowerChute Business Edition連携を行う」を有効にしてください。

## 【Linux環境の場合】

### ◆PowerChute Business Edition エージェントのアップデートインストール◆

(a) PowerChute Business Edition エージェントがインストールされているLinuxサーバ上の任意の場所に、1-2)で作成されたLinuxSilentInstallフォルダ内の「pbeagent\_jce\_patch.tar」をコピーしてください。  
(ここでは例として /opt/PCBE614 とします。)

(b) 「pbeagent\_jce\_patch.tar」ファイルを格納しているディレクトリへ移動し、以下のコマンドを実行してください。  
(上記ディレクトリの場合)

```
cd /opt/PCBE614
tar -xvf pbeagent_jce_patch.tar
```

(c) (b)を実行すると、「pbeagent\_jce\_patch」ディレクトリが作成されます。  
「pbeagent\_jce\_patch」ディレクトリへ移動し、「pbeagent\_jce\_patch」を実行してください。

```
cd pbeagent_jce_patch
./pbeagent_jce_patch
```

※ 「pbeagent\_jce\_patch」スクリプトを実行する際には、必ずファイルが格納されているディレクトリへ移動してから実行して下さい。

(d) プロンプトが表示されましたら、処理は終了です。

### ◆PowerChute Business Edition エージェントの新規インストール◆

(a) 「PowerChute Business Edition v.6.1」のCD-ROM媒体より、インストールしてください。

(b) 前記PowerChute Business Edition エージェントのアップデートインストールを実施してください。

(5) 更新結果の確認

本UPDATEを適用すると、以下のファイルが追加・更新されます。ファイルが正しく追加・更新されているかご確認ください。

【Windows 環境の場合】

- PowerChute Business Edition エージェント/サーバ共通
  - %xxx%¥jre¥lib¥ext¥jce1\_2\_2.jar 74,869バイト 2002/06/27 13:47
  - %xxx%¥jre¥lib¥ext¥local\_policy.jar 2,621バイト 2002/06/27 13:47
  - %xxx%¥jre¥lib¥ext¥sunjce\_provider.jar 134,104バイト 2002/06/27 13:47
  - %xxx%¥jre¥lib¥ext¥US\_export\_policy.jar 2,630バイト 2002/06/27 13:47
- PowerChute Business Edition エージェント
  - %xxx%¥agent¥Version.txt 36バイト 2004/11/30 17:06
- PowerChute Business Edition サーバ
  - %xxx%¥server¥Version.txt 36バイト 2005/01/05 19:44

【Linux 環境の場合】

- %xxx%¥Agent¥lib¥jce1\_2\_2.jar 74,869バイト
- %xxx%¥Agent¥lib¥local\_policy.jar 2,621バイト
- %xxx%¥Agent¥lib¥sunjce\_provider.jar 134,104バイト
- %xxx%¥Agent¥lib¥US\_export\_policy.jar 2,630バイト
- %xxx%¥Agent¥Version.txt 36バイト

※ Linuxマシンにインストールした場合は、更新日時がインストールした日時になります。

xxx = PowerChute Business Edition インストールフォルダ

#### 4. 注意・制限事項

##### (1) 全般

- (1)-1 有効期限経過後にPCBE-061-003 (PowerChute Business Edition)に対するセキュリティパッチ)を適用する場合は、先に本UPDATEを適用してください。

※有効期限前であれば、どちらを先に適用していただいても結構です。

- (1)-2 本UPDATEを適用後にPowerChute Business Editionをアンインストールした場合、フォルダやファイルがPowerChute Business Editionのインストールフォルダ内に残る場合があります。PowerChute Business Editionのインストールフォルダを確認し、フォルダの中身とともに削除してください。

##### (2) Windows環境の場合

- (2)-1 有効期限経過後は、PowerChute Business Edition v.6.1 または v.6.1.2 エージェント/サーバを新規インストールしないでください。

－エージェント：インストール可だが、正しく動作しません。

－サーバ：インストール不可

有効期限経過後にPowerChute Business Edition v.6.1 エージェントをインストールし本UPDATEを適用した場合は、一度、PowerChute Business Edition エージェントをアンインストールしていただき、本UPDATEより新規インストールしてください。

※ESMPRO/UPSManagerや、ESMPRO/AutomaticRunningControllerと連携しているPowerChute Business Edition エージェントをアンインストールする場合、4. (2)-9をご参照の上、アンインストールしてください。

- (2)-2 PCBE-061-001・PCBE-061-002 (PowerChute Business Edition v.6.1 サーバのdata.datの修正) は本UPDATEに含まれておりますので、本UPDATE適用後は PCBE-061-001・PCBE-061-002 を適用しないでください。

PCBE-061-001・PCBE-061-002 を適用した場合は、一度、PowerChute Business Edition サーバ/コンソールをアンインストールしていただき、本UPDATEより新規インストールしてください。

- (2)-3 PowerChute Business Edition エージェントサービスに対し、「サービスのデスクトップの対話をサービスに許可」にチェックを入れていた場合、本UPDATE適用後にこのチェックが外れる場合があります。

必要に応じ、再度以下のチェックを入れてください。

- 1) [設定]-[管理ツール]-[サービス]より、「APC PBE Agent」を選択します。
- 2) 右クリックメニューから「プロパティ」を選択します。
- 3) 「ログオン」タブを選択します。
- 4) 「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックボックスをオンにし、「適用」ボタンを押下します。
- 5) 「OK」ボタンを押下します。

- (2)-4 Windows XP環境にインストールされているPowerChute Business Edition エージェント/サーバにおいて有効期限経過後、各々のサービスが「開始中」の状態では本UPDATEをアップデートインストールすることは出来ません。

※有効期限前であればアップデートインストール可能です。

アップデートインストールを実行しようとした場合、下記メッセージが出

力されます。メッセージに従い、Windows XP をセーフモードで起動し、PowerChute Business Edition エージェント/サーバをアンインストールしてください。

「サービスが開始中のためアップデートインストールできません。セットアップは終了します。Windowsをセーフモードで起動しPowerChute Business Editionをアンインストールしてからもう一度インストールを実行して下さい。」

※OSをセーフモードで起動する方法の詳細については下記

(<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;315222>)  
を参照してください。

※セーフモードで起動する際、OSシャットダウンができない（「設定を保存しています」画面で停止）場合があります。この場合は、コンピュータの電源ボタンを押下し強制終了してください。

※ESMPRO/UPSManagerや、ESMPRO/AutomaticRunningControllerと連携しているPowerChute Business Edition エージェントをアンインストールする場合、(2)-9をご参照の上、アンインストールしてください。

(2)-5 既にインストールされているPowerChute Business Edition エージェント/サーバにおいて、有効期限前に本UPDATEをアップデートインストールした場合、「Create Service failed」というメッセージが表示されることがあります。

その場合は、OSを再起動し再度アップデートインストールを実行してください。

(2)-6 Windows 2000環境にインストールされているPowerChute Business Edition エージェント/サーバにおいて有効期限経過後、各々のサービスが「開始中」の状態の本UPDATEをアップデートインストールする場合、OSシャットダウン時にバッテリーパラメータのダイアログが表示されます。その場合は、「すぐに終了」を選択し終了してください。

また、OSのイベントログに下記エラーがログされる場合があります。動作上特に問題ございませんので、継続しアップデートインストールを行ってください。

[イベントログ]

エラー ID : 1000 Userenv

レジストリ クラス ファイルをアンロードできません。移動ファイルがある場合は、設定は複製されません。管理者に問い合わせてください。  
詳細 アクセスが拒否されました。 、ビルド番号は ((2195)) です。

(2)-7 本UPDATEをアップデートインストールした場合、OSイベントビューアに下記ログが記録されることがあります。

[イベントログ]

ID:1106 警告

ソース : SNMP

説明 : SNMPサービスは、存在しないまたは正しく構成されていない  
拡張エージェント DLL

C:\WINNT\System32\APCSnmp.dll を無視します。

<対応策>

• HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\SNMP\Parameters\ExtensionAgents内の値

「SOFTWARE¥APC¥PowerChute Business Edition¥agent¥snmp」  
が、複数登録されている場合は削除し1つにしてください。

※レジストリはシステムにとって最も重要な部分です。作業を行う際は  
十分注意の上、作業してください。

- C:\WINNT¥System32¥APCSnmp.dll ファイルが存在しない場合は、一度、  
PowerChute Business Edition エージェントをアンインストールして  
いただき、本UPDATEより新規インストールしてください。

(2)-8 下記作業を行った場合、正常にアンインストール出来ないことがあります。  
正常にアンインストール出来ない場合は、手動でアンインストールして  
ください。手動アンインストール方法は、別紙の「手動アンインストール  
手順書.txt」をご参照ください。

- －PowerChute Business Edition エージェント/サーバ サービスが  
「開始中」の状態にアンインストールした場合
- －有効期限経過後にPowerChute Business Edition v.6.1またはv.6.1.2  
をインストールした場合

※ESMPRO/UPSManagerや、ESMPRO/AutomaticRunningControllerと連携して  
いるPowerChute Business Edition エージェントをアンインストールす  
る場合、(2)-9をご参照の上、アンインストールしてください。

(2)-9 ESMPRO/UPSManagerや、ESMPRO/AutomaticRunningControllerと連携してい  
るPowerChute Business Edition エージェントを再インストールする場  
合は、以下の作業を行ってください。

※アップデートインストールまたは、本UPDATE適用のみの場合は必要あり  
ません。

- －ESMPRO/UPSManagerと連携して使用している場合  
本アップデート適用後にESMPRO/UPSManagerを再度インストールして  
ください。

- －ESMPRO/AutomaticRunningControllerと連携して使用している場合  
PowerChute Business Edition のアンインストールを行う前に、  
ESMPRO/AutomaticRunningControllerの「環境設定ウィザード」より  
「PowerChute Business Edition連携を行う」を解除してください。  
また、本UPDATE適用後に「環境設定ウィザード」より「PowerChute  
Business Edition連携を行う」を有効にしてください。

(2)-10 既にインストールされているPowerChute Business Edition コンソールに  
本UPDATEを適用する必要はありません。

ただし、PowerChute Business Edition v.6.1 コンソールから本UPDATE適  
用済のPowerChute Business Edition サーバにログインすると、  
PowerChute Business Edition コンソールのUPDATEがある旨がポップア  
ップメッセージで通知されます。ここで[はい]を選択すると、PowerChute  
Business Edition サーバからPowerChute Business Edition コンソール  
のUPDATEがダウンロードされ、その後自動的にPowerChute Business  
Edition コンソールUPDATEがインストールされます。

ログインしたPowerChute Business Edition サーバに、PowerChute  
Business Edition エージェントが登録されていない場合、「このサーバ  
が管理しているAPC PowerChute Business Edition エージェントはあり  
ません。 エージェントを追加しますか?」とポップアップメッセージが  
表示されます。「いいえ」を選択し、PowerChute Business Edition コン  
ソールのUPDATE完了後、エージェントを追加してください。



- (2)-11 スケジュールシャットダウンが設定されているPowerChute Business Edition エージェントに本UPDATEをアップデートインストールする場合、処理に時間を要し、OSのイベントログに下記エラーがログされることがあります。しかし、動作には影響はありませんので途中で操作を強制終了等されないようご注意ください。

[イベントログ]

Windows Server 2003/Windows 2000/Windows XP の場合

エラー ID : 7011 Service Control Manager

APCPBEAgent サービスからのトランザクション応答の待機中に  
タイムアウト (30000 ミリ秒) になりました。

Windows NT4.0 の場合

エラー ID : 7011 Service Control Manager

トランザクション応答待ちのタイムアウト (120000 ミリ秒)

### (3) Linux環境の場合

PowerChute Business Edition エージェントを新規インストールする場合は、「PowerChute Business Edition v.6.1」のCD-ROM媒体よりPowerChute Business Edition エージェントをインストール後、本UPDATEを適用してください。